

# 第79回奥羽大学歯学会 プログラム・予稿集

日時：2026年6月13日(土) 9:30～11:20

口演発表 10:35～11:20

会場：奥羽大学 附属病院棟 5階 臨床講義室

連絡先：福島県郡山市富田町字三角堂31-1

☎024-932-8931

## 奥羽大学歯学会

# お 願 い

## 会員の方へ：

- ・受付は会場入り口に設けます。
- ・会場の座席は順番につめてご着席ください。
- ・討議にはマイクをご利用ください。

## 発表者の方へ：

口演発表 液晶プロジェクターによる口演

- ・単写のみで、データファイルはMicrosoft社のPower Pointに限ります。
  - ・利益相反（COI）の開示：COIの有無に関わらずスライド2枚目でCOIを開示してください（様式1-Aまたは様式1-B）。
  - ・前日の試写時に、データファイルをUSBフラッシュメモリーで提出してください。
  - ・発表は学会のコンピュータ（Windows）で実行します。特殊フォントは埋め込んでください。
  - ・学会開催前日の午後5時から、試写を行います。データをお持ちになり会場にお集まりください。
  - ・口演時間は口演8分、討論2分の計10分です。
  - ・演者は、口演開始10分前に、次演者席に着席してください。
- 時間の経過については、ベルで合図いたします。
- 7分経過（口演終了1分前）；ベル1回
  - 8分経過（口演終了）；ベル2回
  - 10分経過（質疑終了）；ベル3回
- ・口演終了後も座長の交代まで会場内でお待ちください。

## 事後抄録

発表者は6月15日(月)16時までに、800字程度の事後抄録を、学会担当 小嶋忠之宛にメールに添付して、送信ください。e-mail:t-kojima@den.ohu-u.ac.jp

【問合せ先】学会担当 前田 豊信（口腔機能分子生物学講座）

電話：024-932-8931、内線5335 e-mail:t-maeda@den.ohu-u.ac.jp

# 第 79 回 奥羽大学歯学会プログラム

9 : 30 ~ 評議員会・総会

10 : 35 ~ 開会の辞

高田 訓 会長

一口演発表（学位口演 3 演題、一般口演 1 演題）

座長 川原 一郎

10 : 40 ~ 10 : 50

1. アクロレインの持続添加が、マウス骨芽細胞様細胞MC3T3-E1細胞に及ぼす影響

○橋原 楓<sup>1</sup>、前田豊信<sup>2</sup>、内山梨夏<sup>3</sup>、佐々木槇一<sup>3</sup>、高津匡樹<sup>1,3</sup>  
(奥羽大・大学院・口腔機能回復<sup>1</sup>、奥羽大・大学院・口腔生理・生化<sup>2</sup>、  
奥羽大・歯・歯科補綴<sup>3</sup>)

研修コード1107 関連項目 (1) 0501 (2) 0601

10 : 50 ~ 11 : 00

2. 歯科用コーンビームCTによる乳切歯歯髓腔形態の三次元的計測

○牧 諒<sup>1</sup>、島村和宏<sup>1,2</sup>  
(奥羽大・大学院・加齢口腔科学<sup>1</sup>、奥羽大・歯・成長発育歯<sup>2</sup>)

研修コード0202 関連項目 (1) 0301 (2) 1101

11 : 00 ~ 11 : 10

3. 成長に伴う顎関節の形態変化の歯科用コーンビームCTによる観察

○長谷川祐、宇佐美晶信  
(奥羽大・大学院・口腔機能解剖)

研修コード1101 関連項目 (1) 0202 (2) 0301

11 : 10 ~ 11 : 20

4. 当科にて発生した除去用バー破折による誤飲事故の報告

○渡邊 輝<sup>1</sup>、西 祐也<sup>1</sup>、高橋文太郎<sup>2</sup>、小嶋忠之<sup>1</sup>、金 秀樹<sup>1</sup>、高田 訓<sup>1</sup>  
(奥羽大・歯・口腔外科<sup>1</sup>、奥羽大・歯・口腔病態解析制御学<sup>2</sup>)

研修コード0105 関連項目 (1) 0304 (2) 1109

11 : 20 ~ 閉会の辞

前田 豊信 副会長

## 口 演 発 表 抄 録 ( 学 位 口 演 発 表 )

10 : 40 ~ 10 : 50

### 1. アクロレインの持続添加が、マウス骨芽細胞様細胞MC3T3-E1細胞に及ぼす影響

○橋原 楓<sup>1</sup>、前田豊信<sup>2</sup>、内山梨夏<sup>3</sup>、佐々木槇一<sup>3</sup>、高津匡樹<sup>1,3</sup>  
(奥羽大・大学院・口腔機能回復<sup>1</sup>、奥羽大・大学院・口腔生理・生化<sup>2</sup>、  
奥羽大・歯・歯科補綴<sup>3</sup>)

口腔インプラント治療において喫煙は重要なリスク因子であり、加熱式たばこに含まれる有害物質の影響は十分に解明されていない。本研究では、加熱式たばこに含まれるアクロレインが骨芽細胞に及ぼす影響を、マウス骨芽細胞様細胞 MC3T3-E1を用いて検討した。アクロレイン ( $10^{-5} \sim 10^{-3}$  M) の添加は細胞増殖や細胞死に影響しなかったが、*Alp*、*Bmp2*、*Bsp2*、*Bglap* など分化関連遺伝子の発現を有意に抑制した。さらに転写因子である *Runx2* および *Osx* の発現も培養12~20日で低下した。以上より、アクロレインは骨芽細胞の増殖には影響せず、分化過程を抑制する可能性が示唆された。

研修コード1107 関連項目 (1) 0501 (2) 0601

10 : 50 ~ 11 : 00

### 2. 歯科用コーンビームCTによる乳切歯歯髓腔形態の三次元的計測

○牧 諒<sup>1</sup>、島村和宏<sup>1,2</sup>  
(奥羽大・大学院・加齢口腔科学<sup>1</sup>、奥羽大・歯・成長発育歯<sup>2</sup>)

成長に伴い、生理的歯根吸収が起こる乳歯の歯髓腔形態について、永久歯との違いを比較することで、乳歯の窩洞形成の適切な指標を設定することが可能になると考える。そこで、歯科用コーンビームCT (以下、CBCT) により小児乾燥頭蓋骨を撮影し、乳歯全体と歯髓腔の体積の計測を三次元画像データ上でおこなった。本研究では、乳切歯の歯髓腔形態をCBCTにより三次元的に観察したので報告する。

研修コード0202 関連項目 (1) 0301 (2) 1101

11：00～11：10

### 3. 成長に伴う顎関節の形態変化の歯科用コーンビームCTによる観察

○長谷川祐、宇佐美晶信  
(奥羽大・大学院・口腔機能解剖)

顎関節の側頭骨の構成要素である下顎窩周辺では新生児と成人で関節結節の形態が異なる。しかし下顎窩周辺の成長に伴う三次元的形態変化についての報告はみられない。そこで、歯科用コーンビームCT（以下、CBCT）によりヒト乾燥頭蓋骨の三次元的な形態計測をおこなった。本研究では、CBCTによる顎関節の成長変化に伴う三次元的形態変化の計測結果について報告する。

研修コード1101 関連項目（1）0202（2）0301

11：10～11：20

### 4. 当科にて発生した除去用バー破折による誤飲事故の報告

○渡邊 輝<sup>1</sup>、西 祐也<sup>1</sup>、高橋文太郎<sup>2</sup>、小嶋忠之<sup>1</sup>、金 秀樹<sup>1</sup>、高田 訓<sup>1</sup>  
(奥羽大・歯・口腔外科<sup>1</sup>、奥羽大・歯・口腔病態解析制御学<sup>2</sup>)

歯科治療における医療事故には誤飲、誤嚥や器具破損の事象がある。今回、当科外来にて除去用バーが破折し誤飲した事故が発生した。エックス線写真で消化管内へのバーと考えられる不透過像を認めたため、同日他院にて内視鏡を用いて摘出を行った。その後、破折の原因について検索したところ、当該の除去用バーはタービンでの使用が禁忌であり、外来で使用している他のバーについても使用方法に誤りがあったことが判明したので報告する。

研修コード0105 関連項目（1）0304（2）1109

第80回奥羽大学歯学会予定  
日時：2026年11月21日(土)

---

—歯学会学会委員—

金 秀樹 (口腔外科)\*、前田豊信 (口腔機能分子)\*、小嶋忠之 (口腔外科)\*、  
宇佐美晶信 (生体構造)、島村和宏 (成長発育歯)、菊井徹哉 (歯科保存)、  
南 健太郎 (口腔衛生)、小林美智代 (口腔衛生)、山家尚仁 (口腔病態解析)、  
内山梨夏 (歯科補綴)、古山 昭 (口腔機能分子)

\*学会委員会理事

---